



マーライオン

マリナーベイ地区の「マーライオン・パーク」に設置されたマーライオン像。上半身はライオン、下半身は魚の意匠で、シンガポールを象徴するモニュメント。日中は青空のもとで開放感のある景観が広がり、夜間はライトアップによって昼間とは異なる表情を見せます。周辺のイルミネーションやライトショーとあわせて、水辺の夜景を楽しむスポットとして多くの来訪者が訪れています。



世界の地域から シンガポール



プラナカン文化の影響が見られる街並み

プラナカンとは、15世紀以降にマレーシアやシンガポールへ世界各国から移住して来た男性が現地のマレー女性と結婚して生まれた子孫のことで、彼らは中国・マレー・西洋の文化が混ざり合った独自の生活文化を築きました。華やかなパステルカラーの外観や装飾的な意匠が特徴の建築物は、地域の歴史的景観を構成しています。